

# 日本遺伝学会第 95 回大会総会

日時 2023 年 9 月 8 日 (金) 14 時 00 分～14 時 35 分

場所 A 会場パレオホール

## 総会次第

1 大会委員長挨拶	委員長	荒木 喜美
2 日本遺伝学会会長挨拶並びに報告	会長	岩崎 博史
3 報告事項	会長	岩崎 博史
a 学会賞選考委員会報告	委員長	岩崎 博史
4 議事		
a 2022 年度決算	会長	岩崎 博史
	会計監査	仁木 宏典
b 2024 年度予算案	会長	岩崎 博史
c 第 97 回大会について	会長	岩崎 博史
d その他		
5 YBP 賞・Best Papers 賞受賞者発表		村井 耕二・沖 昌也
6 次期 (第 96 回) 大会委員長挨拶	第 96 回大会委員長	石井 浩二郎
日本遺伝学会木原賞・奨励賞授与式	会長	岩崎 博史

### 1) 会員数 (2023 年 8 月 1 日現在)

普通会員	736 名(内学生会員 281 名)
シニア永年会員	57 名
シニア普通会員	10 名
教育会員	4 名
機関会員	1 件
賛助会員	3 件
休会	24 名
名誉会員	国内 9 名 外国 5 名
計	849 名

## 2) 2023 年度役員名簿

---

会長	岩崎 博史			
評議委員				
全国区	印南 秀樹 木下 哲 那須田 周平	角谷 徹仁 小林 武彦 深川 竜郎	片山 勉 佐渡 敬	河邊 昭 篠原 美紀
北海道地区	伊藤 秀臣	長田 直樹		
東北地区	石川 隆二	鳥羽 大陽		
関東地区	中戸川 仁	松浦 彰		
東京地区	近藤 るみ	野澤 昌文		
中部地区	鐘巻 将人	郷 康広		
関西地区	菅澤 薫	張 秋梅		
中国・四国地区	加藤 太陽	長岐 清孝		
九州地区	石黒 啓一郎	柴田 弘紀		
幹事				
国内庶務幹事	颯田 葉子	野々村 賢一	平田 たつみ	
渉外庶務幹事	新屋 みのり	菱田 卓		
会計幹事	北野 潤			
編集幹事	荒木 弘之	柘屋 啓志		
企画・集会幹事	沖 昌也	Jeffrey Fawcett		
将来計画幹事	荒木 喜美 村山 泰斗	佐々木 真理子	佐瀬 英俊	杉本 道彦
男女共同参画推進担当	一柳 健司 福田 溪	大野 みずき 古郡 麻子	高橋 文 愿山 郁	藤 泰子
広報担当、ホームページ編集	遠藤 俊徳	宮城島 進也		
遺伝学普及・教育担当	大学 保一	村井 耕二		
シニア活性化	池村 淑道	中別府 雄作	真木 寿治	
国際連携幹事	相澤 康則	入江 直樹	加納 純子	二階堂 雅人
会計監査	久保 郁	仁木 宏典		
第 95 回大会委員長	荒木 喜美			

---

### 学会賞選考委員会 (2023)

委員長 岩崎 博史

委員 印南 秀樹 小林 武彦 篠原 美紀  
黒岩 麻里 岡田 由紀 田村 浩一郎

### 研究助成金等推薦調査委員会 (2023)

委員長 岩崎 博史

委員 深川 竜郎 印南 秀樹 石黒 啓一郎 伊藤 秀臣 角谷 徹仁  
片山 勉 木下 哲 小林 武彦 佐渡 敬 篠原 美紀

## 3) 2022 年度収支報告 (2022 年 4 月～2023 年 3 月)

(単位円)

A 収入	摘要	決算
	1. 学会費	4,332,245
	2. 賛助会費	20,000
	3. 科学研究費補助金	4,700,000
	国際情報発信強化 B	3,900,000
	公開市民講座	800,000
	4. 事業収入	1,899,432
	雑誌売上	0
	投稿費	1,899,340
	別刷代	0
	利息	92
	5. 雑収入	437,291
	6. 94 回大会補助金返金	217,047
	小計	11,606,015
	7. 繰り越し金	25,239,381
	総計	36,845,396

B 支出	摘要	決算
	1. 事業費	5,931,925
	雑誌製作費	2,878,040
	大会補助費	1,000,000
	大会対策準備金	264,200
	公開市民講座	800,000
	遺伝学談話会補助費	23,565
	大会学生旅費補助	905,955
	協力委員会分担金	60,165
	2. 評議委員会／幹事会費	394,297
	3 事務費	4,439,989
	会報等発送費	33,025
	編集経費(国際情報発信強化 B 含む)	2,857,695
	事務局経費	1,549,269
	4. 学会賞関係費	1,009,557
	5. 謝金	1,235,229
	6. 特別事業費	86,535
	国際シンポジウム	86,535
	その他(学生交換事業等)	0
	小計	13,097,532
	次期繰越金	23,747,864
	総計	36,845,396

## 4)2024 年度予算案

(単位円)

A 収入	摘要	予算
	1. 学会費	4,400,000
	2. 賛助会費	140,000
	3. 科学研究費補助金	3,900,000
	国際情報発信強化 B	3,900,000
	4. 事業収入	3,990,100
	掲載料	3,990,000
	利息	100
	5. 雑収入	130,000
	小計	12,560,100

B 支出	摘要	予算
	1. 事業費	5,380,000
	雑誌製作費(国際情報発信強化 B 含む)	2,900,000
	大会補助費	1,000,000
	学術集会事業費	300,000
	大会学生旅費補助	800,000
	協力委員会分担金	80,000
	若手の会補助費	300,000
	2. 評議委員会／幹事会費／委員会費	440,000
	3. 事務費	3,840,000
	会報等発送費	40,000
	編集経費(国際情報発信強化 B 含む)	2,900,000
	事務局経費	900,000
	4. 学会賞関係費	400,000
	5. 謝金	1,300,000
	6. 特別事業費	1,200,100
	国際シンポジウム	1,000,000
	その他(学生交換事業等)	200,100
	小計	12,560,100

\*収入の「4.事業収入」の雑誌売上、別刷代は GGS 冊子体廃止に伴い 2024 年度予算案から削除。また、「雑誌発送費」は「会報等発送費」に適用名変更。同じく「4.事業収入」の「投稿費」は、GGG のオープンアクセス化に伴い「掲載料」に摘要名変更。

## 5) 【日本遺伝学会木原賞】

柴田 武彦（理化学研究所・名誉研究員）

「RecA によるDループ形成反応の発見と展開」

「The discovery of RecA-catalyzed D-loop formation and its development to generate seeds of new technology」

## 【日本遺伝学会奨励賞】

加藤 太陽（島根大学医学部生命科学講座）

「転写と共役したエピゲノム維持に関する研究」

「Research on transcription-coupled epigenome maintenance」

中川 草（東海大学医学部）

「大規模遺伝情報を用いたウイルス関連ゲノムの進化遺伝学的研究」

「Genome evolution studies using large-scale genetic information」

野澤 昌文（東京都立大学理学研究科生命科学専攻）

「多様なショウジョウバエを用いた性染色体の進化遺伝学的研究」

「Evolutionary genetics of sex chromosomes by utilizing a variety of *Drosophila* species」

## 6) 協力委員会

同位元素協会委員 岩崎 博史

自然史学会連合委員 菱田 卓

生物科学学会連合委員 菱田 卓

## 7) 学会推薦学術賞・研究助成の年間スケジュール

件名	助成団体	締切
藤原賞	(財)藤原科学財団	2023年12月15日予定
猿橋賞	女性科学者に明るい未来をの会	2023年11月30日
東レ科学技術賞・研究助成	(財)東レ科学振興会	2023年10月10日
沖縄研究奨励賞	(財)沖縄協会	2023年9月30日
内藤記念海外学者招聘助成	内藤記念科学振興財団	前期 2024年6月30日 後期 2024年12月31日
内藤記念講演助成金	内藤記念科学振興財団	夏季 2023年5月19日 秋季 2023年8月18日 冬季 2023年11月20日 春季 2024年2月16日
木原記念財団学術賞	(財)木原記念横浜生命科学振興財団	2023年9月30日
井上学術賞	井上科学財団	2023年9月20日
井上研究奨励賞	井上科学財団	2023年9月20日
井上リサーチアワード	井上科学財団	2023年7月31日
朝日賞	朝日新聞社	2023年8月25日
基礎科学研究助成	(財)住友財団	2023年6月30日
環境研究助成	(財)住友財団	2023年6月30日
持田記念学術賞	(財)持田記念医学薬学振興財団	2023年5月15日
研究助成金	(財)持田記念医学薬学振興財団	2023年5月6日
留学補助金	(財)持田記念医学薬学振興財団	2023年5月10日
山崎貞一賞	材料科学技術振興財団	2023年4月15日
研究助成金	(財)山田科学振興財団	2023年2月28日

(注) 学会の推薦を必要とする場合は学会内で選考のため財団の提出締切りより、通常は1ヶ月早く締切る。  
尚、各助成金の詳細については事務局までお問い合わせ下さい。

## 8) 開催地一覧

回	年	月 日	会 場
1	1928(昭 3)	10月19日	九州帝国大学農学部
2	1929(昭 4)	7月26日	北海道帝国大学農学部
3	1930(昭 5)	10月31日	東京農事試験場
4	1931(昭 6)	10月31日	京都帝国大学・楽友会館
5	1932(昭 7)	10月14日	名古屋医科大学
6	1933(昭 8)	10月26日	広島文理科大学動物学教室
7	1934(昭 9)	12月21日	台北帝国大学生物学教室
8	1935(昭 10)	10月21日	金沢医科大学法医学教室
9	1936(昭 11)	10月16日	岡山医科大学 生理学教室
10	1937(昭 12)	7月31日	北海道帝国大学理学部
11	1938(昭 13)	10月13~15日	九州帝国大学農学部・医学部・九州小麦試験地
12	1939(昭 14)	10月14~15日	科学博物館(東京)
13	1940(昭 15)	8月27~28日	京城帝国大学医学部
14	1941(昭 16)	地方談話会大会	(6会場)(総会予定地は仙台)
15	1942(昭 17)	10月27~28日	東北帝国大学農学研究所
16	1943(昭 18)	10月20~21日	京都帝国大学・楽友会館
17	1944(昭 19)	地方談話会大会	(7会場) (総会予定地は名古屋)
18	1946(昭 21)	11月18~19日	静岡高等学校
19	1947(昭 22)	10月21~22日	松本高等学校
20	1948(昭 23)	10月23~24日	高野山
21	1949(昭 24)	10月20~22日	名古屋大学理学部
22	1950(昭 25)	10月14~16日	東京大学医学部
23	1951(昭 26)	10月11~12日	広島大学教養部
24	1952(昭 27)	10月 8~10日	新潟大学医学部
25	1953(昭 28)	11月 7~ 8日	国立遺伝学研究所
26	1954(昭 29)	10月28~30日	京都大学医学部
27	1955(昭 30)	10月16~18日	岡山大学
28	1956(昭 31)	10月 6~ 8日	富山市公会堂
29	1957(昭 32)	9月 3~ 5日	北海道大学農学部
30	1958(昭 33)	10月16~19日	名古屋大学医学部
31	1959(昭 34)	11月 4~ 7日	大阪大学医学部
32	1960(昭 35)	10月30日~11月1日	九州大学工学部
33	1961(昭 36)	9月 1~ 3日	東北大学川内分校
34	1962(昭 37)	10月17~18日	日本大学文理学部三島校舎
35	1963(昭 38)	10月 8~10日	東京大学教養学部
36	1964(昭 39)	10月18~20日	愛媛大学
37	1965(昭 40)	10月18~20日	京都大学医学部・楽友会館
38	1966(昭 41)	8月10~12日	北海道大学教養部
39	1967(昭 42)	10月 9~11日	神戸大学教養部
40	1968(昭 43)	10月 7~ 9日	広島大学
41	1969(昭 44)	10月10~12日	金沢大学工学部
42	1970(昭 45)	10月 5~ 7日	東京女子大学短期大学部
43	1971(昭 46)	10月20~22日	九州大学理学部・農学部
44	1972(昭 47)	10月 7~ 9日	岡山大学理学部・法文学部
45	1973(昭 48)	10月14~16日	名古屋大学農学部



回	年	月 日	会 場
46	1974(昭 49)	9 月 10~12 日	福祉会館(仙台)
47	1975(昭 50)	10 月 3~ 5 日	日本大学三島校舎
48	1976(昭 51)	10 月 28~30 日	日本生命中之島研究所(大阪)
49	1977(昭 52)	9 月 28~30 日	北海道経済センター (札幌)
50	1978(昭 53)	10 月 8~10 日	東京農業大学
51	1979(昭 54)	10 月 11~13 日	京都大学農学部
52	1980(昭 55)	10 月 6~ 8 日	富山大学教養部
53	1981(昭 56)	10 月 12~14 日	広島大学総合科学部
54	1982(昭 57)	11 月 19~21 日	九州大学医学部
55	1983(昭 58)	10 月 8~10 日	東北大学教養部
56	1984(昭 59)	11 月 23~25 日	日本大学国際関係学部
57	1985(昭 60)	10 月 13~15 日	神戸大学農学部・理学部・自然科学系
58	1986(昭 61)	12 月 4~ 7 日	名古屋観光ホテル
59	1987(昭 62)	10 月 29~30 日	筑波大学生物科学系
60	1988(昭 63)	10 月 8~10 日	京都大学農学部
61	1989(平元)	10 月 13~15 日	北海道大学学術交流会館
62	1990(平 2)	10 月 4~ 6 日	お茶の水女子大学
63	1991(平 3)	10 月 16~18 日	九州大学箱崎キャンパス
64	1992(平 4)	10 月 22~24 日	仙台国際センター
65	1993(平 5)	9 月 17~19 日	日本大学国際関係学部
66	1994(平 6)	10 月 8~10 日	大阪大学医学部講義棟
67	1995(平 7)	10 月 12~14 日	岡山大学一般教育講義
68	1996(平 8)	10 月 3~ 5 日	名古屋・椋山女学園大学
69	1997(平 9)	11 月 1~ 3 日	横浜市立大学瀬戸キャンパス
70	1998(平 10)	9 月 23~25 日	北海道大学学術交流会館
71	1999(平 11)	9 月 24~26 日	広島大学理学部・法学部・経済学部
72	2000(平 12)	11 月 3~ 5 日	京都大学農学部・京都会館会議場
73	2001(平 13)	9 月 22~24 日	お茶の水女子大学
74	2002(平 14)	10 月 1~ 3 日	九州大学箱崎キャンパス
75	2003(平 15)	9 月 24~26 日	東北大学川内キャンパス
76	2004(平 16)	9 月 27~29 日	大阪大学コンベンションホール
77	2005(平 17)	9 月 27~29 日	国立オリンピック記念青少年総合センター
78	2006(平 18)	9 月 25~27 日	つくば国際会議場
79	2007(平 19)	9 月 19~21 日	岡山大学創立 50 周年記念館 (津島キャンパス)
80	2008(平 20)	9 月 3~5 日	名古屋大学工学部 IB 電子情報館
81	2009(平 21)	9 月 16~18 日	信州大学理学部
82	2010(平 22)	9 月 20~22 日	北海道大学高等教育機能開発総合センター
83	2011(平 23)	9 月 20~22 日	京都大学農学研究科
84	2012(平 24)	9 月 24~26 日	九州大学医学部百年講堂・同窓会館
85	2013(平 25)	9 月 19~21 日	慶應義塾大学日吉キャンパス
86	2014(平 26)	9 月 17~19 日	長浜バイオ大学
87	2015(平 27)	9 月 24~26 日	東北大学川内北キャンパス
88	2016(平 28)	9 月 7~9 日	日本大学国際関係学部三島駅北口校舎
89	2017(平 29)	9 月 13~15 日	岡山大学一般教育棟および創立五十周年記念館
90	2018(平 30)	9 月 19~21 日	奈良先端科学技術大学院大学
91	2019(令 元)	9 月 11~13 日	福井大学文京キャンパス

回	年	月 日	会 場
92	2020(令 2)	中止(注 1)	くまもと県民交流館パレア
93	2021(令 3)	9 月 8~10 日	学習院大学
94	2022(令 4)	9 月 14~16 日	北海道大学工学部

(注 1 : 現地開催は新型コロナウイルスの感染防止のため中止。公開市民講座のみ別日 (2021 年 3 月 6 日) に開催。プログラム・予稿集の発行をもって発表に代える)

### (公財)遺伝学普及会所属日本遺伝学会運営規則

公益財団法人遺伝学普及会(以下財団という)定款第 38 条、及び公益財団法人遺伝学普及会所属研究団体等に関する規程に基づき、当財団に所属することが認められた日本遺伝学会の運営については以下の通りとする。

第 1 条 所属団体としての名称は日本遺伝学会(以下本会という)と称する。

第 2 条 本会は遺伝に関する研究を奨め、その知識の普及を計ることを目的とする。

第 3 条 本会に入会しようとするものは学会ホームページから財団事務局に申し込む。

第 4 条 本会会員は普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員、教育会員、機関会員、賛助会員および名誉会員とする。ただし、年会費滞納が当該年度を超えて 1 年以上におよぶものは会員資格を停止する。

1) 普通会员は年会費 10,000 円を納める。

2) シニア普通会员は、定年退職して常勤職でないことを申し出た者とする。以降の年会費 6,000 円を納める。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

3) シニア永年会員は、当学会に 5 年以上在籍する 65 歳以上の普通会员もしくはシニア普通会员が、初回のみ 30,000 円の永年会費を納入して資格変更でき、以降の会費および大会参加費の納入は免除される。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

4) 学生会員は、在学証明書またはそれに代わるものを提出することで、初年度の年会費を免除し、2 年目以降は 3,000 円を納める。

5) 教育会員は、小・中・高等学校等の教育機関の教員を対象とし、年会費 2,000 円を前納する。会長および評議委員の被選挙権は有しない。

6) 機関会員は 15,000 円を、賛助会員は 1 口 (20,000 円) 以上を納める。

7) 普通会员、シニア普通会员、学生会員および教育会員が休職および海外留学をする期間の休会を申し出たときは、その期間中の年会費を免除する。

第 5 条 本会は次の者を財団理事会の決議により名誉会員の称号、あるいは特別功労賞を授与することができる。

本会に功労のあった者。外国の卓越した遺伝学者。

第 6 条 本会は隔月 1 回 Genes & Genetic Systems を発行する。

第 7 条 本会は毎年 1 回大会を開く。大会は総会と講演会とに分け、総会では会務の報告、規則の改正、運営委員候補者の選挙および他の議事を行い、講演会では普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員、教育会員および名誉会員の研究発表をする。

大会に関する世話は大会委員若干名によって行い、大会委員長は財団理事会の承認を得て会長が委嘱する。大会は臨時に開くことがある。

第 8 条 本会は各地に談話会をおくことができる。

第9条 本会を運営するため運営委員として会長1名、幹事若干名、会計監査2名の役員、および評議委員若干名をおく。以下の手順で選出された運営委員候補者および評議委員候補者は全て財団理事会の承認を得るものとする。

- 1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
- 2) 会長は、評議委員が普通会员および学生会員の中から選出した複数の候補者から、普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員による直接選挙によって選出される。
- 3) 評議委員は、普通会员および学生会員の中から、普通会员、シニア普通会员、シニア永年会員、学生会員による直接選挙で選出される。
- 4) 幹事は、会長が推薦する候補会員を評議委員の過半数が承認することにより選任される。
- 5) 会計監査は、会長が推薦する候補会員を評議委員の過半数が承認することにより選任される。
- 6) 会長は評議委員会を招集し、その議長を務める。幹事は評議委員会に出席するものとする。
- 7) 評議委員会は会員を代表して、本会の事業計画、経費の収支、予算・決算、学会誌の発行、大会の開催、その他重要事項について審議し、出席評議委員の過半数をもって草案を議決する。決議された事項は財団理事会の承認を得るものとする。評議委員会は全評議委員の3分の2以上の出席をもって成立とする。やむおえない事情の場合、委任状の提出あるいはオンライン参加も参加とみなすことができる。
- 8) 会長ならびに幹事により幹事会を構成し、会長がこれを代表する。
- 9) 幹事会は、本会の関連事項を論議し評議委員会に諮ると共に、会務を執行する。
- 10) 会計監査は、本会の会計を監査する。

第10条 運営委員および評議委員の任期は2カ年とする。会長および評議委員は連続三選はできない。

第11条 本会の事務年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

付則 この規程は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める公益法人の変更認定申請に基づいて、定款の変更が成された日から施行する。

付則 平成29年9月12日に第6条を改正し、平成30年4月1日から施行する。

付則 平成31年3月8日に第11条を改正し、平成31年4月1日から施行する。

付則 令和1年9月12日に第1条、第5条、第6条、第7条、第8条、第9条を改正し、令和1年9月13日から施行する。

付則 令和2年9月18日に第9条を改正し、令和2年9月19日から施行する。

付則 令和4年3月31日に第3条、第6条を改正し、令和4年4月1日から施行する。